令和８年度山梨県立ふじざくら支援学校

第２回学校運営協議会

日　時　　令和８年１０月６日（火）１０：００～１１：３０

会　場　　山梨県立ふじざくら支援学校　　視聴覚室

次　　第

１　開会のことば

２　授業視察（小学部低学年ブロック、中学年ブロック）

３　学校長挨拶

４　議事【議長　会長】

①働きがいの向上に向けての取り組みについて

②豊かな心の育成に向けての取り組みについて

③その他

５　意見交換

６　連絡事項

①今後の予定　第3回：2月１６日（火）１３：３０～１５：００

②その他

７　閉会のことば

令和８年度山梨県立ふじざくら支援学校

第２回学校運営協議会

◇10 名の委員が出席、3 名が欠席

◇授業視察

前回の協議会で委員から要望があった小学部の授業を視察した。前回高学年を見学したので、今回は小学部低学年・中学年の交流事前学習と国語・算数を見学した。

◇議事〈議長　会長〉

（１） 働きがいの向上に向けての取り組みについて

・教頭より資料の「本校における業務量管理・健康確保措置実施計画について」説明。
・８月までの平均時間をグラフに示した。
・残業時間を減らすことだけでなく、子どもと接する時間の確保が大事であると考える。
・時間外在校等時間が４５時間以上の教職員へは声掛けをし、改善された職員もいた。
・月２回、完全定時退庁日を設けており、今年度は、管理職が施錠をして、全員の退庁を確認している。
・自己観察書への具体的目標を明記するようにしている。
・課業中は休憩時間がしっかりとれないことから、夏季休業中にフレックスタイムの試行をした。早く来て早く帰るなど家庭の都合に合わせて活用できている。
・時間外在校等時間数集計表から、責任ある立場の職員の時間数が多い傾向にある。

委員：グラフより昨年度より改善されていることが分かる。
教頭：一般の先生方の時間を減らすために、主任の先生方が仕事を抱えて時間が増えている状況も見られる。それをどう改善していくかが今後の課題である。
委員：休日出勤の時間も含まれているのか。
教頭：土日出勤も含まれている。休日出勤は平均して５名程度。平日に家庭都合で早く帰宅する職員が出勤することが多い。
委員：年度始めは労力を使う業務が多いため、４月に時間外勤務時間が減っていることに頑張りが感じられる。５月はその反動で少し多いように感じる。
委員：４５分間の休憩がなかなか取れないと思うが、夏季休業中で全てまかなえるか。
教頭：休憩時間に会議の設定はしていないが、授業の片付けや簡単な打合せなどを行う場合がある。なるべく消化できるようにしている。
委員：業務のスリム化など学校の努力が感じられる。授業見学をさせてもらったが、子ども

たちに寄り添った支援、マンパワーを感じる。小中学校の課題としても挙がっているが、産休や休職した職員の補充をどうしているのか。義務教育では、管理職が補充に入っているケースがある。

教頭：今年度は１学期に産休に入った職員に対しては前倒し任用で対応できた。昨年度は傷病など出入りが多かったが、今年度はいない。人づてや県にお願いして探している。

委員：先生方に無理をさせないためにも勤務時間管理は大事だと思う。

校長：今年度、研修期間中の代替職員は確保できなかった。地域的な部分もある。

委員：子どもと向き合う時間の確保や勤務時間内で帰宅することの確保は大事だと思う。会議や行事等についての工夫はあるか。

教頭：行事については年々精選している。例として今年度、小学部は交流の学年を振り分けた。会議については書面開催の検討や資料の事前閲覧など工夫をしている。

（２） 豊かな心の育成に向けての取り組みについて

・教頭より「ふじざくら支援学校いじめ防止基本方針」について説明。
・いじめの問題に関する基本的な考え方としては、人として決して許されない行為であり、未然防止の活動はすべての教職員が日々実践することが求められる。
・いじめ調査アンケートについて、児童生徒に実際におこなっている調査用紙と保護者に対してのアンケート内容を説明。
・第１回いじめ調査アンケート集計結果の説明。保護者の認知が１件あり、状況について説明
・豊かな心の育成に向けては、教員の自己観察書に個人の目標を入れ込んだ。

委員：いじめの認知は校外（ディサービス）だったのか、校内だったか。先生は見ていなかったのか。

教頭：校内だった。教員は見ておりその場で指導もしていた。その後も学年全体への指導などの対応を行った。

（３）その他（授業視察の感想等）

委員：とても落ち着いていた。小学部低学年がとても落ち着いているように感じる。特別支援学校在籍者数が右肩上がりで増えている。インクルーシブ教育を推進しているが停滞していると感じる。授業を見学して、教員がよく指導していると感じる。廊下の作品掲示などもすばらしい。絵本など教科書を使った指導をしている。学習指導要領が３段階で整備され、教科での指導、そして各教科等が関連付けられた指導がされている。

委員：授業つくりの視点で、目的がしっかりしていて分かりやすい。一人一人の進度が違い、音を出したり場合によっては大きな声を出したりする児童もいるが、他人の音に影響されていない。今までの積み重ねだと思う。教材の提示の仕方も工夫されている。地域の諸学

校も工夫などを知りたいのではないかと思う。

委員：学年ごとにカラーがあり、和気あいあいとした雰囲気を感じた。教室に無駄がなく、環境の作り方が上手。指導がしやすい環境になっていると感じた。

委員：自身の子どもの小学部低学年時を思い出し懐かしく感じた。こういうこともできるんだと感心した部分もある。パーテーションで区切って学習するイメージがあったが、なくても落ち着いて学習ができていた。今後も継続して成長していってもらえればと思う。

委員：教室の教卓に連絡帳が開いて置いてあり、複数の教員で様子が分かるようにされてあった。親との関係つくりの大切さを感じた。また、掲示物も工夫されており、親が来校した時に、掲示物で子どもの学習の様子が見られるというすばらしさを感じた。